学校番号	３１２

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新版「世界史Ａ」新訂版　（実教出版）						
副教材等	新版初訂　ダイアローグ世界史図表　（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史は範囲も広く、イメージがわかないこともあって、不得意になる人が多いようです。現代の世界の在りようを考えるとき、歴史的な視点ははずせません。グローバル世界といわれる現代、大きな歴史の流れをつかむことでその理解がすすみます。より大きな「世界」へ視野を広げましょう。

２　学習の到達目標

・１年の現代社会・地理Ａの学習を踏まえ、世界諸地域の伝統的な社会・文化はどのようなものであったか、その要点を簡潔に学ぶとともに・16 世紀の大航海時代からの世界の一体化がすすむ中で、近代世界がどのようにして形成されてきたのかを理解する。
・近代世界の発展の上に現代の世界がどのような展開をとげ、今日に至っているのかを理解する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め，意欲的に追究するとともに，国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し，国際社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し，有用な情報を選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	定期考査 授業態度 ノート	定期考査 授業態度 レポート	レポート ノート	定期考査 ノート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半		ユーラシアの諸文明 ○東アジア、ギリシア・ローマ文化 一体化する世界と日本 近代世界の成立 ○「大航海時代」と地球規模での交流の始まり ○重商主義時代の世界貿易の拡大と ヨーロッパ諸国のアジア進出	○	○	○	○	a:東アジア世界の自然環境，生活，宗教などの特質に対する関心を高め，意欲的に追究している。（授業態度） b:中国を中心とする国際秩序の形成，中国と北方民族の関係を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。（発問評価） c:漢字の起源や仏教，皇帝の専制支配に関する諸資料を収集し，適切に活用している。（提出課題） d:東アジア世界の自然環境，生活，宗教などの特質についての基本的な事柄を理解し，その知識を身につけている。（定期考査）	定期考査 授業態度 ノート
1学期後半		ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の変動 ○市民革命の展開（イギリス革命と産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命とナポレオン） ○19 世紀のヨーロッパナショナリズムの勃興と植民地化とアジア諸国民	○	○		○	a:18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパ，アメリカの政治・経済的変革に対する関心を高め，意欲的に追究している。（授業態度） b:フランス革命以降のヨーロッパにおける国民国家の形成を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。（発問評価） c:資本主義社会の成立と発展に関する諸資料を収集し，適切に活用している。（提出課題） d:18 世紀後半から 19 世紀までのヨーロッパ，アメリカの政治・経済的変革と産業社会と国民国家の形成についての基本的な事柄を理解し，その知識を身につけている。（定期考査）	定期考査 授業態度 ノート

2学期前半		○近代化を模索するイスラム世界、南アジア世界、東アジア世界 ○欧米列強による植民地化で苦しむアジア世界	○	 ○			a:西欧諸国やロシア，アメリカの進出によるアジア諸国の動揺と改革に対する関心を高め，意欲的に追究している。（授業態度） b:アジア諸国の西欧的近代化への取り組みを多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。（発問評価・レポート） c:西欧諸国やロシア，アメリカの進出に対するアジア諸国の反発に関する諸資料を収集し，適切に活用している。（提出課題） d:西欧諸国やロシア，アメリカの進出によるアジア諸国の動揺と改革についての基本的な事柄を理解し，その知識を身につけている。（定期考査）	定期考査 授業態度 ノート レポート
2学期後半		現代世界のあゆみ 帝国主義の時代 ○19 世紀末のヨーロッパと資本主義の変貌 ○列強による帝国主義政策とアフリカ、アジア諸国の闘い ○第１次世界大戦とロシア革命	○	 ○	 ○	○	a:帝国主義による世界分割と第一次世界大戦前後の世界の動向に対する関心を高め，意欲的に追究している。（授業態度） b:総力戦としての第一次世界大戦が戦後世界に与えた影響について多面的･多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。（発問評価） c:大衆社会の成立やアジアの民族運動に関する諸資料を収集し，適切に活用している。（提出課題） d:帝国主義による世界分割と第一次世界大戦前後の世界の動向についての基本的な事柄を理解し，その知識を身につけている。（定期考査）	定期考査 授業態度 ノート

3学期		○両大戦間期の世界 現代の世界 ○第二次世界大戦と戦後世界 ○冷戦の終結と社会主義の変容 ○冷戦後の世界	○	○			a:世界恐慌から第二次世界大戦に至る世界の動向に対する関心を高め，意欲的に追究している。（授業態度） b:ファシズム勢力の台頭に関して多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。（発問評価） c:総力戦がもたらした犠牲に関する諸資料を収集し，適切に活用している。(提出課題) d:世界恐慌から第二次世界大戦に至る世界の動向についての基本的な事柄を理解し，その知識を身につけている。(定期考査) 戦後の世界について国際的な動向と基本的な知識と興味・関心を持っている。(定期考査・レポート)	定期考査 授業態度 ノート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。